

長野県農業経営者協会東信ブロック交流会が開催されました。

長野県農業経営者協会の東信地区(上小、南佐久、北佐久)の3支部主催(北佐久支部担当)により11月10日(金)、東信ブロック交流会が小諸市の「小諸グランドキャッスルホテル」にて開催されました。

この交流会は、毎年、会員の資質向上と相互の親睦を目的に実施されています。

当日は、26名の方が参加され、先ず前長野県経営者協会会長荻原慎一郎氏から「明日の農業を考える」と題して、自ら歩んできた道を振り返り、農業の見方、今後考えている展開についてユーモアを交えながら語っていただきました。また、一般社団法人長野県発明協会知的財産アドバイザーの久保順一氏からは、今こそ農業分野で考えてほしい「農業経営と知的財産」について話題提供がありました。そして、基調講演として、山梨学院大学経営学研究センター副センター長の東秀忠准教授から「現場の見方についてー生産管理ー」と題し、経営の課題は現場にあるので、現場から感じ取る力、それを経営改善に活かす考え方など具体的なお話や、更に効率的な経営体を築いてほしいとの講演をいただきました。今日の農業をめぐる情勢を捉えた話に、参加者からは「時機を得たものだ。」として大好評でした。

親睦会は、講師を交えて行われ、講演内容を基に会員相互で活発な議論がされていました。



長野県農業経営者協会北佐久支部長あいさつ



佐久農業改良普及センター所長あいさつ



荻原 慎一郎 氏の講演風景



東 秀忠 氏の講演風景